



高齢者住宅複合施設 サザン

SAZAN

〒814-0165 福岡市早良区次郎丸1丁目29-40

TEL 092-863-4133



高齢者住宅複合施設 サザン II

SAZAN II

〒819-0041 福岡市西区拾六町1丁目26-22

TEL 092-812-3933



高齢者住宅複合施設 サザン 3

SAZAN 3

〒819-0031 福岡市西区橋本1丁目34-40

TEL 092-812-3341

医療法人
おがた整形外科医院
院長 緒方 孝俊 氏



「介護」の意識を 変える事で 高齢者が元気を 取り戻せる

Interview

介護の現場で独自路線を進み、
利用者の信頼も厚い、その取り組みについて
医療法人おがた整形外科医院の
院長緒方孝俊氏にお話をお伺いしました。

Interview
インタビュー

規制をするだけではダメで、その方が話す内容をしっかり聞いて、貴重なご意見ですねと聞いてあげることが必要です。本人は何処へ行っても聞き入れてもらえないと思っていらしゃるケースが多いようです。見守られるだけでなく、自分の意見を伝える環境を作ってあげることが重要です。

「食事に力を入れていきます」

特に力を入れているのは食事です。入居者がそれを完食されます。独立した料理人(シェフ)を30名ほど抱えています。素人ではなく、本物のシェフです。材料も縛らないので、自分の腕を振るってください。イキイキと料理を振る舞うことで美味しい料理が作れ、利用者にも好評で食欲も自然に出るようです。美味しいものをどんどん出してあげれば、活動もしますし、活動すればお腹が空きます。するとエネルギーを使うから、またおなが空くんです。その繰り返しで、今気づいたら、なんか元気になる、という感じ。入院患者さんも今まで元気じゃ

なかった方が、ご飯を食べてみんなで騒ぐだけで元気になる。本当に不思議なんです。そして認知症も良くなる効果が出るんです。話もしなかつた方が帰りがけにはニコニコ笑っています。やはり、食事は大事ですね。食べられなくなったら身体は弱る一方です。

「寂しさをまぎらわすこと」

入居者のみなさんは、19時過ぎにはオフロに入ってみんなで賑やかにお話をされています。20時位にお部屋に帰られるかと思っていたら、今度は下に降りて行って将棋をしたり、オセロをしたり、またテレビのスポーツをみたり、そう考えるとすごく人間らしい生活をなさっているなど感じます。自宅では一人つきりで、そういったことも出来ませんから。

「今後について」

おかげさまで、恒例の夏祭りでも3500名が参加されるほど皆さんに親しまれるようになりました。今後も現在の取り組みを継続し、地域貢献していきたいと思えます。

高齢者が元気であるための秘訣は？

一番大事なのは、考え方を変えていくことです。

今までは最後の時間をいかに過ごすかという考えでしたが、そういう考えで介護をしようと、どうしても現状は維持できるけれども、身体がだんだん弱っていく。

考え方を変えて、今が一番楽しく過ごすべき時だ、というような意味の励まし。たとえば、こういう事をしては危ないからやめなさいと言っているのではなく、せつかくここまで長生きしてきたんだから楽しく過ごさないともったいないと励ませば、全然変わってきます。

自分の意見を伝える環境を作ってあげることが大事

自分の意志で、自分の意見を聞いてもらえるだけでいいんです。そういうことが大事なんです。

認知症とかそういう方に対して、



医療法人 おがた整形外科
〒814-0022 福岡市早良区原7丁目4-18
TEL 092-863-5337

